

## 十石舟と三十石船

伏見の旅のハイライトの1つは、十石舟と三十石舟（別名じっこくぶね とさんじっこくぶね）として知られる平底船に乗って港町の水路をめぐるツアーである。十石舟は、三十石舟より小さくて現代的な型で、20世紀初頭まで大阪と京都の間で人と物資を運んだ伝統的な船である。

秀吉、千姫、水都季といった名前の古風で趣のある船が約50分間水路を周遊する。ツアーは三栖閘門資料館での途中下車も含まれている。いずれのツアーの料金も1200円である。

十石舟クルーズは3月下旬から12月の第1日曜日までの月曜日を除く毎日、午前10時から午後4時20分まで20分ごとに出発している。乗り場は長建寺から川を渡った弁天橋の下にあり、月桂冠大倉記念館から徒歩数分のところにある。

三十石船ツアーは4月と5月、10月上旬から11月上旬にかけて、桜やカエデの見頃に合わせて、特定の日のみ運航されている。乗り場は、京橋のそばで、坂本龍馬（1826-1867）とその妻龍（お龍とも呼ばれる 1841-1906）の像の前にあり、寺田屋から徒歩わずか数分のところにある。